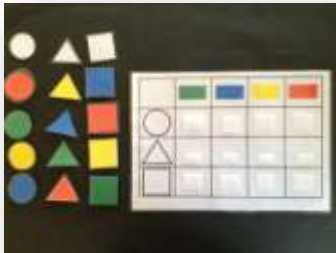


発信！ 教材 きたとくスタイル

No. 5	【教材名】 色と形のマトリックス	
【対象】 見てわかることが優先する時期の子ども		【教科・領域】 自立活動（認知・数量）
【使用場面】 学習		
【教材の写真】    （マトリックス課題セット） マトリックスの理解…色・形の統合と分解を、表を作って分類する （形又は色の抽出課題） （色と形の統合課題）		
【使用方法】 - 初めは、復習もかねて形の分類、色だけの分類を行う。（課題の意図が読み取れたかどうかを確認する） - マトリックス表を用いて、色と形の統合課題を行う。 - 提示していく際に「あかのまるだね」と色や形の名前を言い、課題の意図を確実に伝える。 - ものに名前があることの理解を促す。 （気を付けている点） - 初めのうちは「貼れば必ず正解」という状態を作っています。課題を正確に理解するためと、失敗を避けることで、主体性を引き出すためです。		
【効果】 〈ねらい〉 - ものに名前があることの理解の基礎を確実に促していきます。 - 課題を通して、色と形を組み合わせる意識を高めます。 - 色と形の情報を整理して分類する力を身につけます。 〈期待していくこと〉 「赤いくつ」「青いかさ」など、名詞と形容詞が身につくこと。		
【参考文献・参考資料】 ○太田昌孝（1992）自閉症治療の到達点 日本文化社 ○太田昌孝（1992）自閉症治療の到達点②認知発達治療の実践マニュアルー自閉症の Stage 別発達段階ー 日本文化社 ○立松英子（2009）発達支援と教材教具 子どもに学ぶ学習の系統性 ジアース教育新社		